

景気見通し調査結果報告書

調査期間 平成 27 年 9 月

小 松 商 工 会 議 所

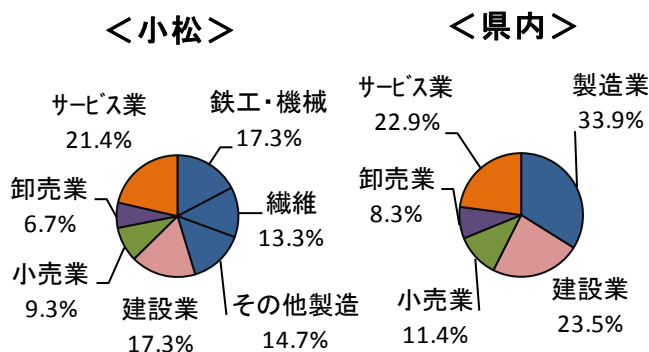
中 小 企 業 相 談 所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 225社

回収率 75企業（回収率 33.3%）

業種	小松	県内
鉄工・機械	13	160
繊維	10	
その他製造	11	
建設業	13	111
小売業	7	54
卸売業	5	39
サービス業(運輸含む)	16	108
合計	75	472



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 …… 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※DI 値 ……DI (ディフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 ……平成 27 年度第 1 四半期(平成 27 年 4 月～6 月)

今 期 ……平成 27 年度第 2 四半期(平成 27 年 7 月～9 月、但し 9 月は見込み)

来 期 ……平成 27 年度第 3 四半期(平成 27 年 10 月～12 月)

【各項目別の DI 値の意味について】

- (1)景 況 感……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高……………DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価……………DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り……………DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) ……DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

(1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好 調	1	5	1	1	1	0	0	1	0	0	2	2	2	2
不 変	4	5	6	7	5	8	8	6	3	2	1	1	12	12
悪 化	8	3	3	2	5	3	5	6	4	5	2	2	2	1
無回答														1
総 計	13		10		11		13		7		5		16	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

全体的に変化はないが、新規用途が増えていくと思われる（製造業 好転→好転）
原油安に伴う資材安によるもの（製造業 好転→好転）
観光バスの増産（製造業 不変→好転）
円安、同業者の廃業（製造業 不変→好転）
コマツの生産計画のフレ幅の大小（製造業 悪化→好転）
受注の増加、案件数の増加（製造業 好転→不変）
やや向上しつつあるも、不変程度の範囲と判断した（製造業 不変→不変）
低迷したまま良くもならず悪くもならずという感じが、現在の業界全体の状況（製造業 不変→不変）
特に良くもなく低位安定（製造業 不変→不変）
消費税が8%になってから景気は悪化し、景況感は4～6月まで下降線をたどる。底打感は見えるものの先行不透明、景気過熱政策がとれば消費税10%も視野に（製造業 不変→不変）
受注数量減少・微減（製造業 不変→不変）
景況感を左右する自動車や鉄鋼等の製造が悪化しているので、好転とは判断出来なかった。但し弊社のバス業界は、円安等による影響で訪日観光者の増加により、昨年に引き続き好調である (製造業 不変→不変)
建設機械業界の生産減、中国経済（製造業 悪化→不変）
輸出品目が少なく、円安のメリットを享受できていない。円安により原料高のデメリットに見まわられて、且つ内需が停滞している（製造業 悪化→不変）
季節的な要因です（製造業 悪化→不変）
受注の減少(製造業 悪化→不変)
国内の販売状況・店頭が良くない（製造業 不変→悪化）
コマツ関連の受注状況が悪化したため（製造業 悪化→悪化）
コマツの生産計画より判断（製造業 悪化→悪化）
中国の景気減速による世界経済をけん引する新しい国が出てこない。鉱山機械の受注が少ない (製造業 悪化→悪化)
台風が多く発生、天候不順傾向が続きそうであり、出荷低迷見直し（製造業 悪化→悪化）
公共工事の発注総額が全国的に少ない（建設業 悪化→好転）
工事受注において、変化や特別な事項などは何もなかった（建設業 不変→不変）
工事規模単価の低下（建設業 不変→悪化）
なんとなく、お客様の買い控えが出ている（建設業 悪化→悪化）
民間の物件量の減少（建設業 悪化→悪化）
公共工事が大幅に減少しているため（建設業 悪化→悪化）
中国経済悪化不安はあるものの、日本経済の基礎体力が急に損なわれるわけではない (小売業 不変→不変)
新規取引先及び新規商品アイテム増加（卸売業 好転→好転）
現況先行きとも好転、上昇する要件が見当たらない（卸売業 悪化→悪化）
北陸新幹線開業効果（サービス業 好転→好転）
売上高は不変でも、売上単価は競争が激しく安くせざるえないので、余裕がない (サービス業 不変→好転)
首都圏を中心に建設ブームが続いている（サービス業 好転→不変）
会社関係の利用が少ない（サービス業 不変→不変）
上半期の流れが下半期も続くと思われる（サービス業 不変→不変）
引き続き北陸新幹線の影響により売上が増加（サービス業 不変→不変）
コマツ関連及びその他建材関連の実質的な運送量の減少が継続的で今後についても、増加は見込んではいない（サービス業 不変→悪化）

(1)-2 DI値

(単位: DI)

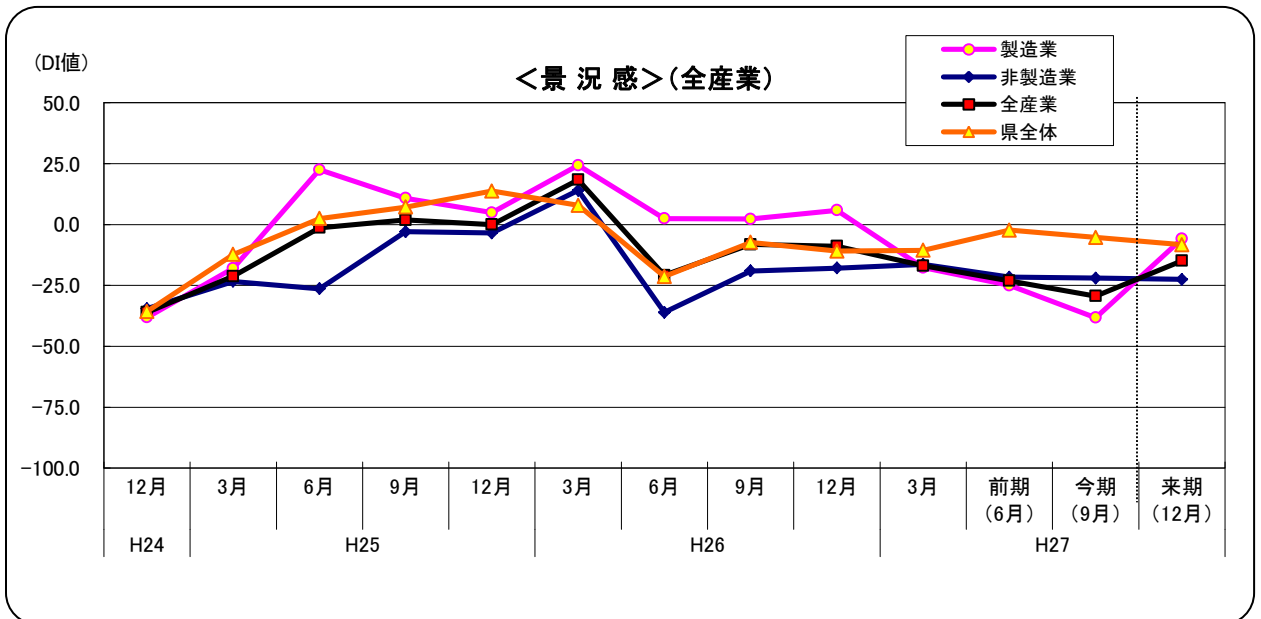
		前期		今期		来期	
		小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	鉄工・機械	▲ 50.0	—	▲ 53.8	—	15.4	—
	繊維	9.1	—	▲ 20.0	—	▲ 10.0	—
	その他製造	▲ 23.1	—	▲ 36.4	—	▲ 27.3	—
	製造計	▲ 25.0	▲ 1.7	▲ 38.2	▲ 6.9	▲ 5.9	▲ 12.2
非製造業	建設業	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 38.5	▲ 18.3	▲ 38.5	▲ 12.8
	小売業	▲ 33.3	0.0	▲ 57.1	▲ 9.3	▲ 71.4	▲ 11.1
	卸売業	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 12.8	0.0	▲ 12.8
	サービス業(運輸含む)	▲ 5.3	19.1	0.0	15.0	6.7	5.8
	非製造計	▲ 21.6	▲ 2.7	▲ 22.0	▲ 4.5	▲ 22.5	▲ 6.2
全体		▲ 23.1	▲ 2.3	▲ 29.3	▲ 5.3	▲ 14.9	▲ 8.3
改善予測		24.2	3.5	14.4	▲ 3.0	—	—

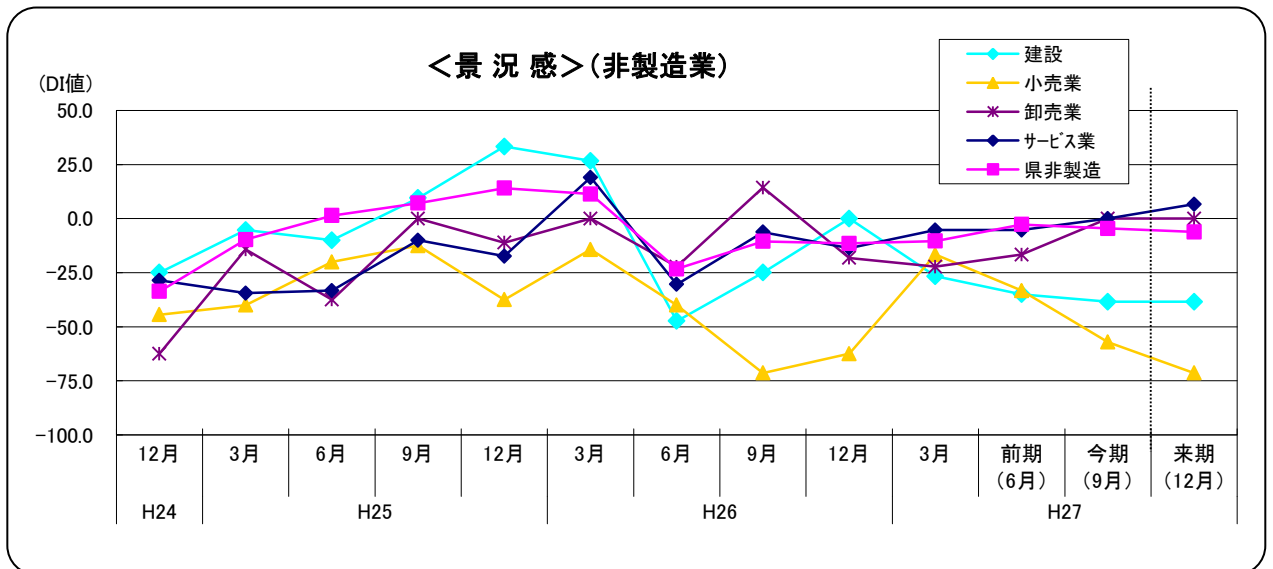
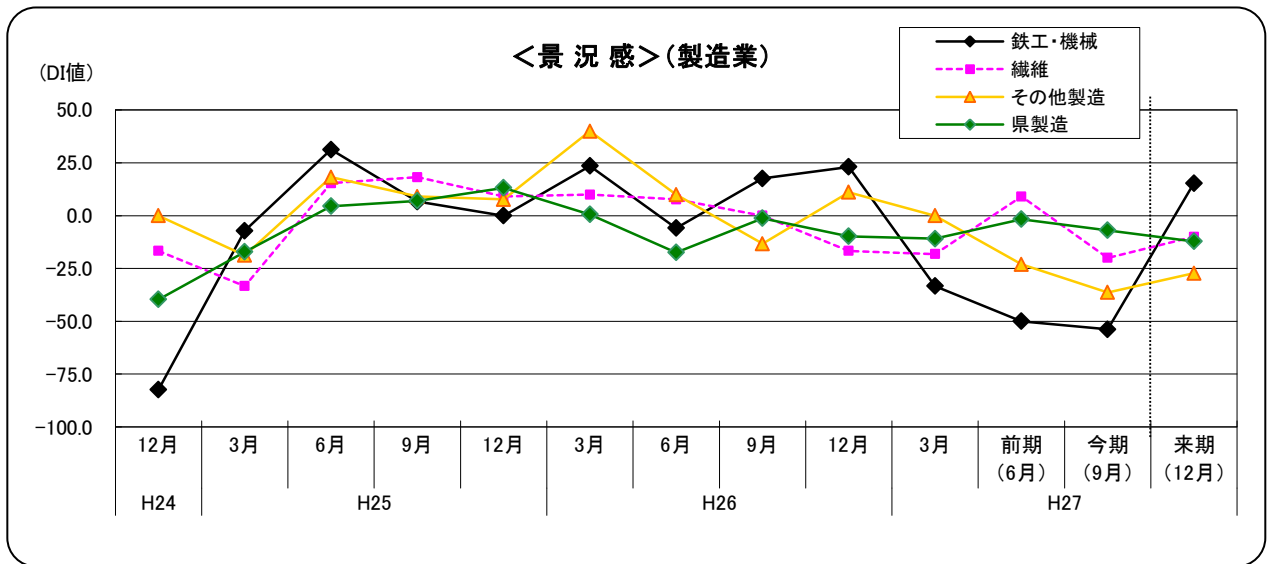
※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

製造業については、鉄工・機械では前期▲50.0ポイントだったが、今期は▲53.8ポイントと更に悪化。来期は▲15.4ポイント回復の見通しを示している。繊維においては前期が9.1ポイントであったが、今期は▲20.0ポイントと悪化、来期が▲10.0ポイントとやや回復の見通しを示している。その他製造業においては、前期から今期にかけて悪化しており来期は回復の見込みであることが伺える。

非製造業については、建設業が前期▲35.0ポイントから今期▲38.5ポイントと更に悪化傾向にあり、来期も▲38.5ポイントと依然厳しい予測が伺える。小売については今期▲23.8ポイント悪化、卸売は16.7ポイント回復、サービス業は5.3ポイント回復となっており、総じて依然厳しい状況が続いていることが伺える。

(1)-3 年代別の推移





(単位:DI)

区分	今期(H27.9)			来期(H27.12)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	▲ 38.2	9	5	↗ ▲ 5.9	↘ 2	↘ 2	34社
非製造業	▲ 22.0	13	10	↘ ▲ 22.5	↘ 10	↘ 7	41社
全体	▲ 29.3	11	8	↗ ▲ 14.9	↘ 7	↘ 5	75社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2) - (5) 売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(第2四半期)の状況

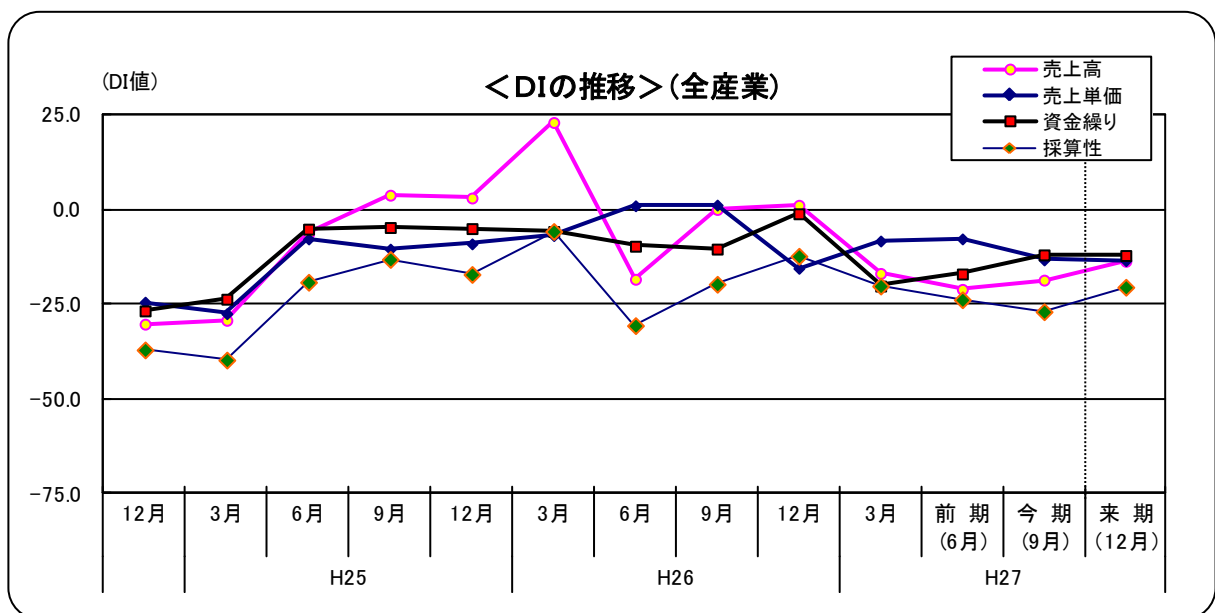
(単位:DI)

業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 26.5	▲ 2.9	▲ 5.9	▲ 3.2	▲ 20.6	▲ 7.0	▲ 24.2	▲ 16.0
建設業	▲ 23.1	▲ 16.8	▲ 23.1	▲ 3.7	▲ 7.7	▲ 7.3	▲ 38.5	▲ 17.4
小売業	▲ 28.6	0.0	▲ 57.1	▲ 3.7	▲ 14.3	5.6	▲ 71.4	▲ 7.4
卸売業	0.0	▲ 15.4	0.0	▲ 2.6	▲ 20.0	▲ 5.3	20.0	▲ 12.8
サービス業	0.0	5.3	▲ 6.3	▲ 2.8	6.3	8.5	▲ 18.8	2.8
全体	▲ 18.7	▲ 4.9	▲ 13.3	▲ 3.2	▲ 12.0	▲ 1.9	▲ 27.0	▲ 10.8

来期(第3四半期)の見通し

(単位:DI)

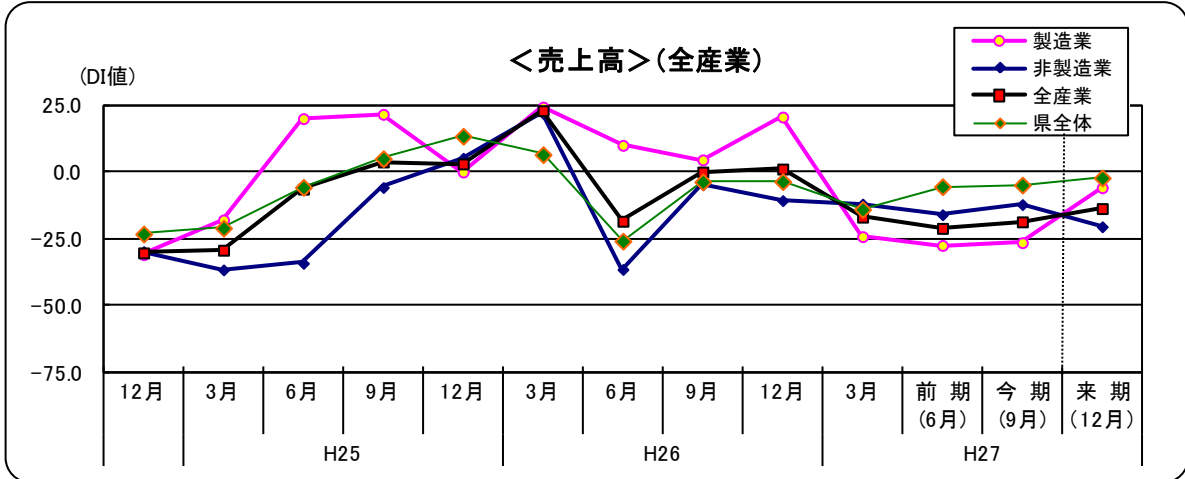
業種	売上高		売上単価		資金繰り		採算性	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内	小松	県内
製造業	▲ 5.9	0.0	▲ 5.9	▲ 3.2	▲ 8.8	▲ 1.9	▲ 9.1	▲ 6.5
建設業	▲ 33.3	▲ 12.8	▲ 15.4	▲ 6.4	▲ 15.4	▲ 12.8	▲ 46.2	▲ 21.8
小売業	▲ 57.1	▲ 5.6	▲ 57.1	▲ 1.9	▲ 42.9	▲ 3.8	▲ 71.4	▲ 15.4
卸売業	0.0	5.1	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 5.3	20.0	▲ 7.7
サービス業	0.0	4.8	▲ 6.7	▲ 2.9	0.0	7.7	▲ 13.3	1.0
全体	▲ 13.7	▲ 2.2	▲ 13.5	▲ 3.5	▲ 12.2	▲ 2.8	▲ 20.5	▲ 9.6
改善予測 (今回)	5.0	2.7	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.9	6.5	1.2
改善予測 (H27.6)	27.8	6.3	3.3	1.5	7.8	▲ 0.8	20.5	2.8
改善予測 (H27.3)	▲ 18.8	10.0	4.9	6.8	0.0	7.6	▲ 3.6	12.4



(2) 売上高

(単位: DI)

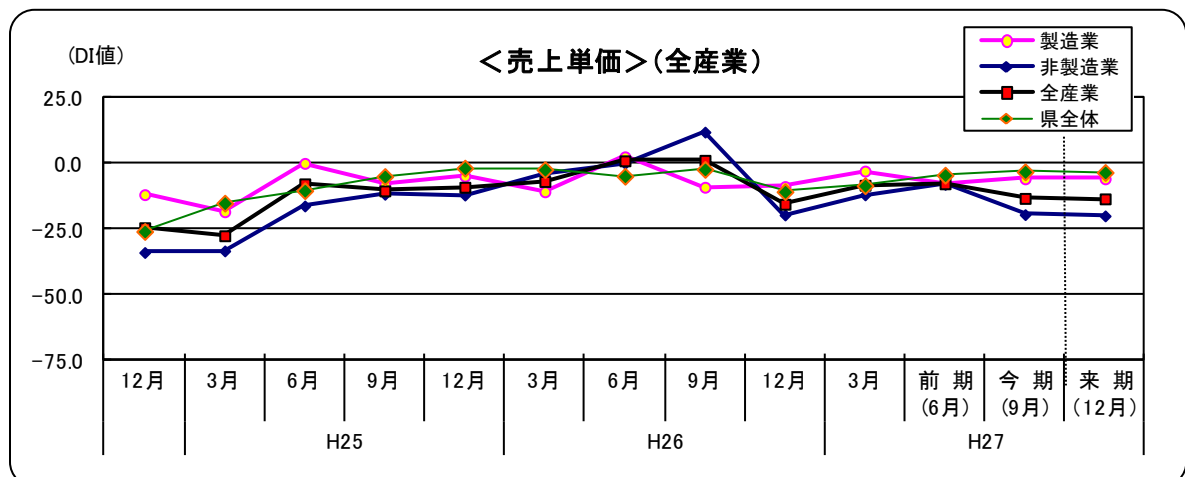
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	7.7	0.0	▲ 27.3	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 57.1	0.0	0.0	▲ 20.5	▲ 13.7	▲ 2.2
今期	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 26.5	▲ 23.1	▲ 28.6	0.0	0.0	▲ 12.2	▲ 18.7	▲ 4.9
前期	▲ 56.3	9.1	▲ 23.1	▲ 27.5	▲ 26.3	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 16.0	▲ 21.1	▲ 5.5



(3) 売上単価

(単位: DI)

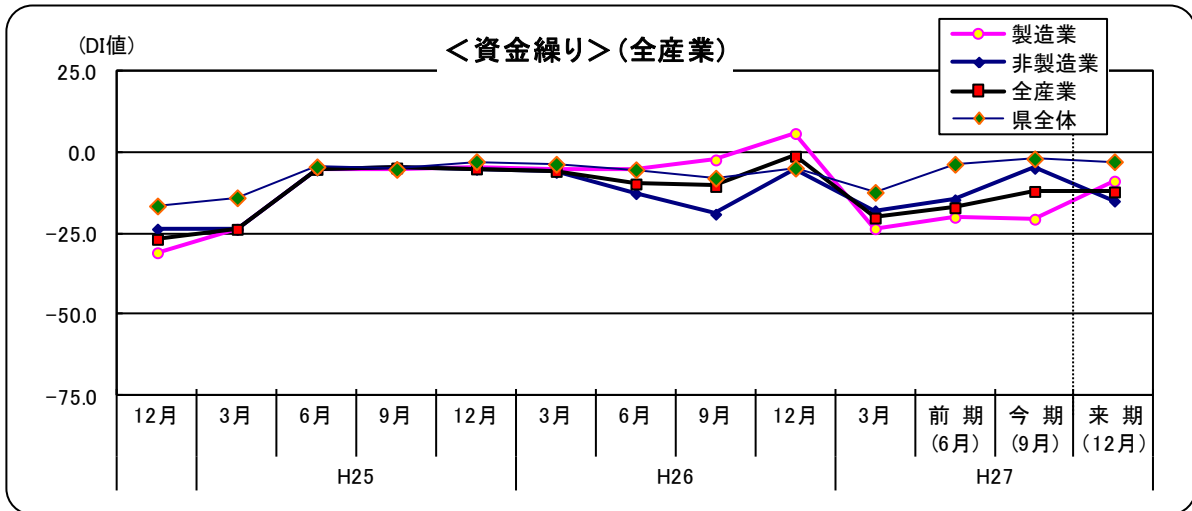
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 7.7	0.0	▲ 9.1	▲ 5.9	▲ 15.4	▲ 57.1	▲ 20.0	▲ 6.7	▲ 20.0	▲ 13.5	▲ 3.5
今期	▲ 7.7	0.0	▲ 9.1	▲ 5.9	▲ 23.1	▲ 57.1	0.0	▲ 6.3	▲ 19.5	▲ 13.3	▲ 3.2
前期	▲ 12.5	9.1	▲ 15.4	▲ 7.5	▲ 15.8	▲ 16.7	16.7	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 7.8	▲ 4.5



(4) 資金繰り

(単位:DI)

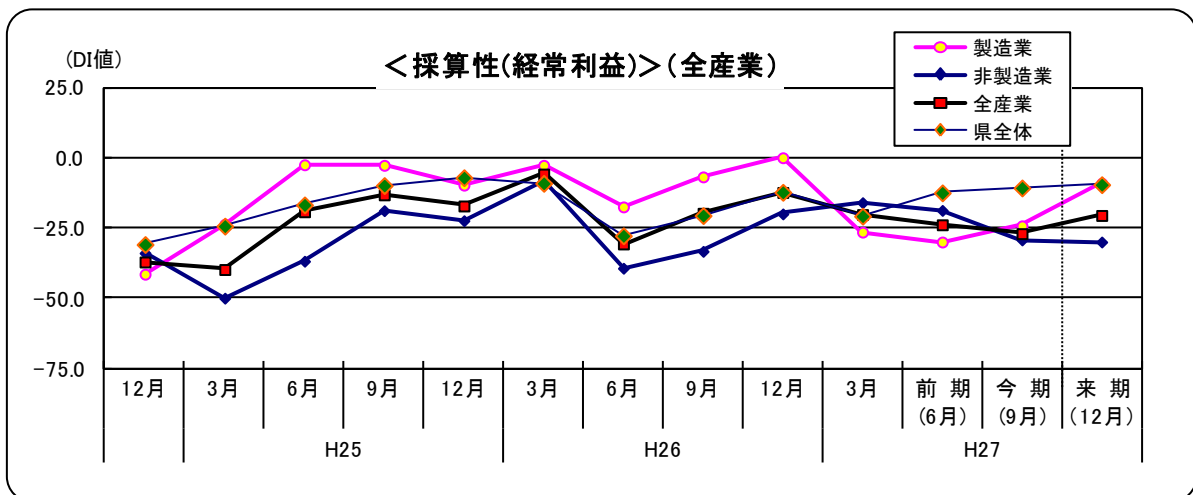
	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 15.4	▲ 10.0	0.0	▲ 8.8	▲ 15.4	▲ 42.9	▲ 20.0	0.0	▲ 15.0	▲ 12.2	▲ 2.8
今期	▲ 30.8	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 20.6	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 20.0	6.3	▲ 4.9	▲ 12.0	▲ 1.9
前期	▲ 31.3	▲ 18.2	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 60.0	▲ 16.7	▲ 5.3	▲ 14.6	▲ 17.0	▲ 3.6



(5) 採算性(経常利益)

(単位:DI)

	製造業				非製造業					全産業	県内
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計		
来期	▲ 8.3	0.0	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 46.2	▲ 71.4	20.0	▲ 13.3	▲ 30.0	▲ 20.5	▲ 9.6
今期	▲ 46.2	▲ 20.0	0.0	▲ 24.2	▲ 38.5	▲ 71.4	20.0	▲ 18.8	▲ 29.3	▲ 27.0	▲ 10.8
前期	▲ 56.3	▲ 9.1	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 5.6	▲ 18.8	▲ 23.9	▲ 12.5

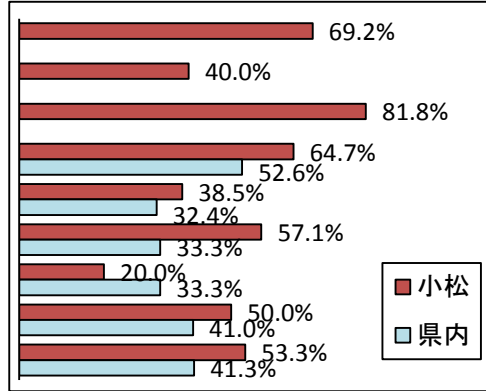


設備投資の動向

(1) 今年度前半(平成 27 年 4 月～27 年 9 月の6ヶ月)に設備投資を

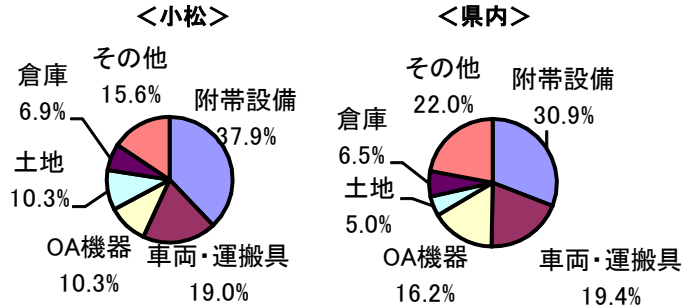
	実施した		
	小松	県内	
鉄工・機械	9 社	69.2%	
繊維	4 社	40.0%	
その他製造	9 社	81.8%	
製造業	22 社	64.7%	52.6%
建設業	5 社	38.5%	32.4%
小売業	4 社	57.1%	33.3%
卸売業	1 社	20.0%	33.3%
サービス業(運輸含む)	8 社	50.0%	41.0%
全体	18 社	53.3%	41.3%

<業種ごとの実施した会社の比率>



	小松	県内
附帯設備	37.9%	30.9%
車両・運搬具	19.0%	19.4%
OA機器	10.3%	16.2%
土地	10.3%	5.0%
倉庫	6.9%	6.5%
その他	15.6%	22.0%

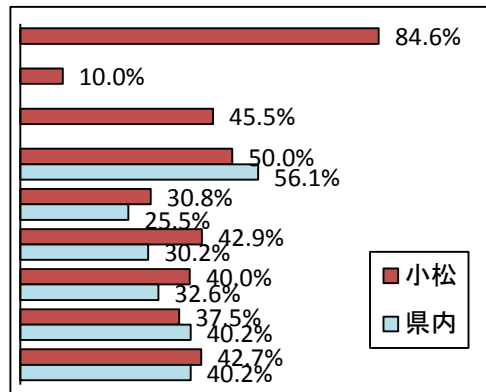
※設備投資内容(複数回答有り)



(2) 今年度後半(平成 27 年 10 月～28 年 3 月の6ヶ月)に設備投資を

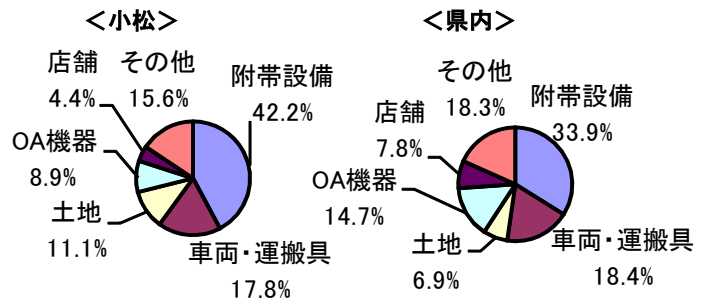
	計画している		
	小松	県内	
鉄工・機械	11 社	84.6%	
繊維	1 社	10.0%	
その他製造	5 社	45.5%	
製造業	17 社	50.0%	56.1%
建設業	4 社	30.8%	25.5%
小売業	3 社	42.9%	30.2%
卸売業	2 社	40.0%	32.6%
サービス業(運輸含む)	6 社	37.5%	40.2%
全体	32 社	42.7%	40.2%

<業種ごとの実施した会社の比率>

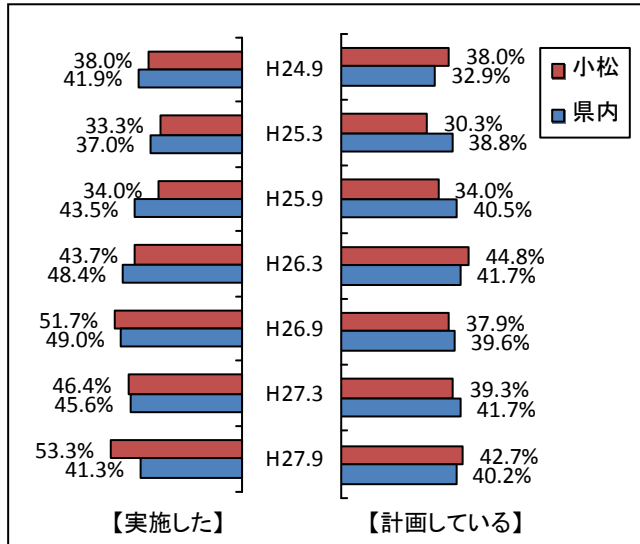


	小松	県内
附帯設備	42.2%	33.9%
車両・運搬具	17.8%	18.4%
土地	11.1%	6.9%
OA機器	8.9%	14.7%
倉庫	4.4%	7.8%
その他(工場等)	15.6%	18.3%

※設備投資内容(複数回答有り)



		小松	県内
実施した	H24.9	38.0%	41.9%
	H25.3	33.3%	37.0%
	H25.9	34.0%	43.5%
	H26.3	43.7%	48.4%
	H26.9	51.7%	49.0%
	H27.3	46.4%	45.6%
	H27.9	53.3%	41.3%
計画している	H24.9	38.0%	32.9%
	H25.3	30.3%	38.8%
	H25.9	34.0%	40.5%
	H26.3	44.8%	41.7%
	H26.9	37.9%	39.6%
	H27.3	39.3%	41.7%
	H27.9	42.7%	40.2%



Q. 設備投資における北陸新幹線開業の影響

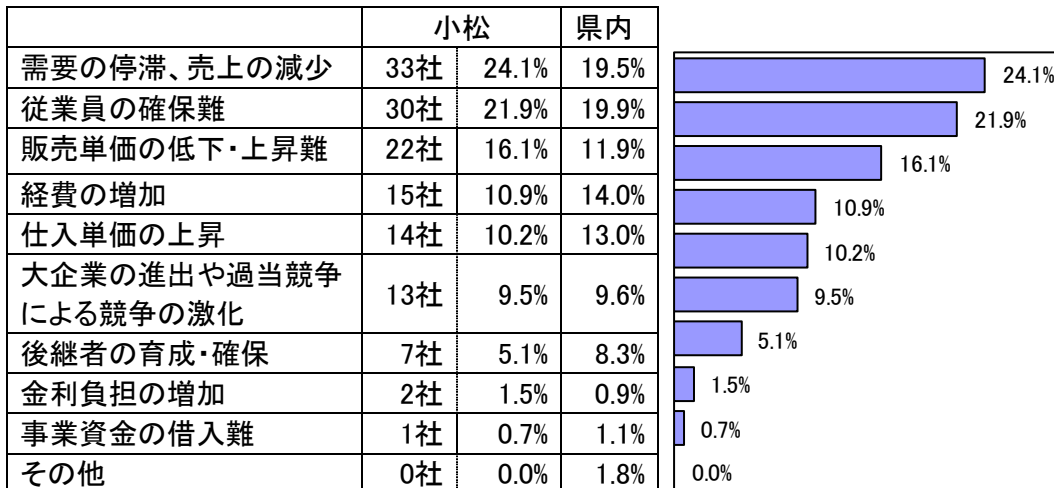
設備投資「実施」企業

業種	開業影響あり	
	小松	県内
製造業	0.0%	7.7%
建設業	0.0%	3.3%
小売業	0.0%	0.0%
卸売業	0.0%	0.0%
サービス業	2.5%	34.2%
全体	2.5%	11.7%

設備投資「計画」企業

業種	開業影響あり	
	小松	県内
製造業	0.0%	3.6%
建設業	0.0%	0.0%
小売業	0.0%	0.0%
卸売業	0.0%	0.0%
サービス業	3.1%	20.6%
全体	3.1%	6.0%

今期(第2四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)



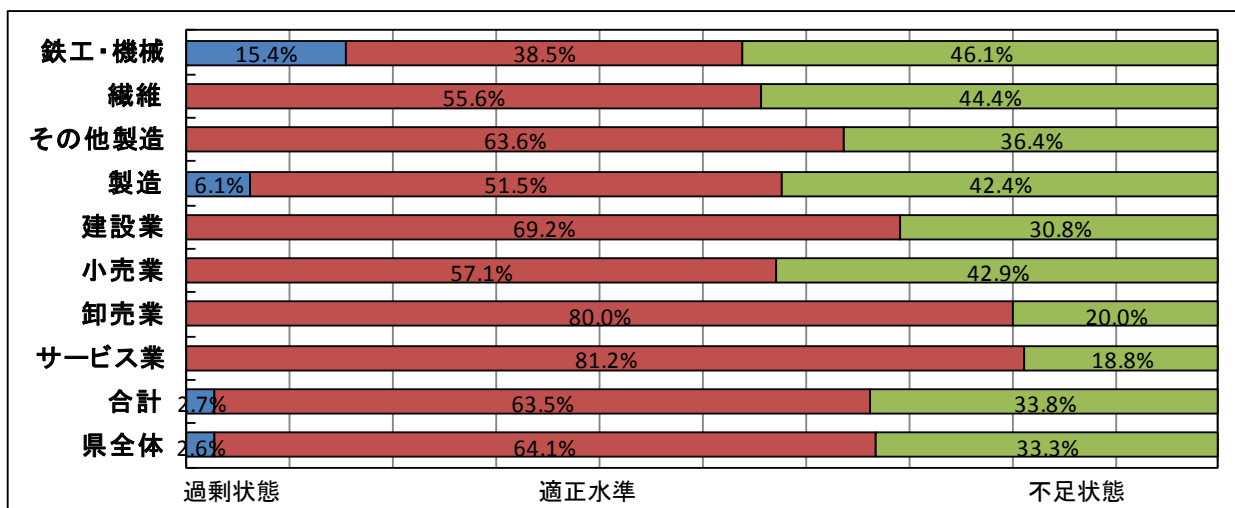
Q「経営上の問題点」の項目における「具体的な問題点」

バスの増産に伴う人材不足。3.6 協定による残業規制（製造業）
第3Qよりの増産対応に伴う人員確保（製造業）
若年労働力の不足（製造業）
優秀な人材を確保したいが困難である（製造業）
専門職がない（建設業）
職人の高齢化で後継者の人材育成が急務である（製造業）
都会より大企業が石川県に入ってきて安定所の求職者をごそと引き取るので小企業に全く人が回らない（製造業）
受注の不安定（製造業）
業界全体に景況悪化→表日本の大企業が厳しい単価で競合（製造業）
円安の影響で原料資材が高水準であり、売価は相変わらず、末端小売業の競争は厳しく値上げ困難（製造業）
繊維業界の構造的問題（製造業）
運転資金が厳しくなる（製造業）
人材不足（建設業）
円安や中国経済が悪化している（建設業）
社員、アルバイト共に、求職者が少ない（小売業）
従業員の募集をしてもこない（卸売業）
鉄スクラップ相場は国内外共に需要不振で値下がり、世界的に鋼材価格は荷余り感が強く低迷している（卸売業）
通常の募集で反応がなくて大変（サービス業）
人件費があがらない事（サービス業）
業種によって専門分野に入社の従業員は少ない（サービス業）
航空旅客の減少（サービス業）
小松空港の利用者減少は、空港利用者に対しての輸送、レンタカー利用が減少している。又、路線運行に必要な人員不足は解消されていない（サービス業）
本年夏は例年に比べ気温が高かったため、エネルギー需要が停滞した（サービス業）

雇用情勢

1. 現在の雇用状況については、どの状態とと思われますか。

	過剰状態		適正水準		不足状態	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	15.4%		38.5%		46.2%	
繊維	0.0%		55.6%		44.4%	
その他製造	0.0%		63.6%		36.4%	
製造業	6.1%	4.6%	51.5%	55.6%	42.4%	39.9%
建設業	0.0%	1.8%	69.2%	70.0%	30.8%	28.2%
小売業	0.0%	3.8%	57.1%	73.6%	42.9%	22.6%
卸売業	0.0%	2.6%	80.0%	71.8%	20.0%	25.6%
サービス業(運輸含む)	0.0%	0.0%	81.3%	62.5%	18.8%	37.5%
全体	2.7%	2.6%	63.5%	64.1%	33.8%	33.3%



Q「雇用状況」の項目における「①過剰状態」・「③不足状態」の対応策

①過剰状態

一斉休業実施、他企業への出向、教育実施（製造業）
他社への出向（製造業）

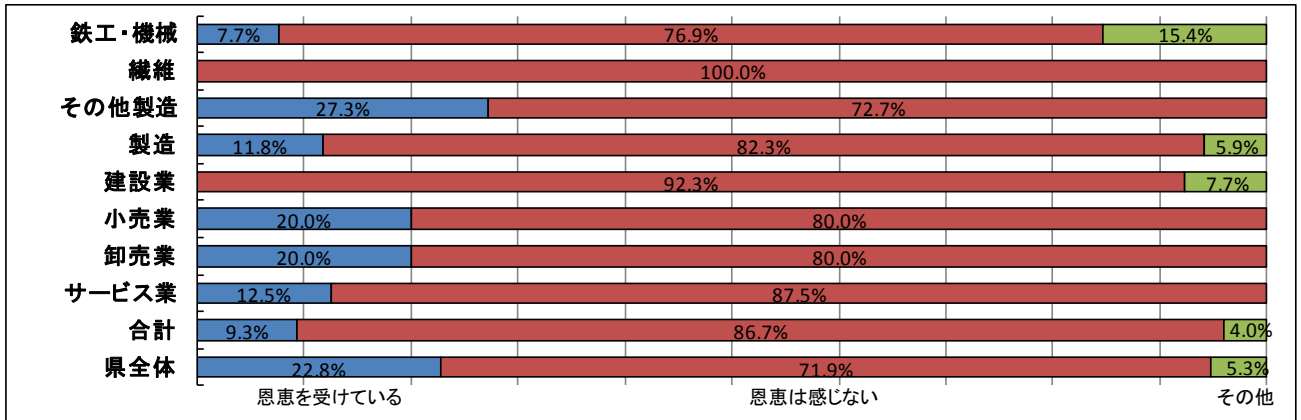
③不足状態

ハローワークでの求人、人材紹介会社への依頼、大卒向の新採（製造業）
派遣会社、企業出向応援を依頼中（製造業）
派遣社員の増員。製品の外注化（製造業）
既にいる従業員で残業、外注業者の利用により対応（製造業）
一部業種については好転し、定年退職者も発生したことから（製造業）
転職する人が目立つ。残業がないため（製造業）
ロボット化による対応（製造業）
外人研修生の検討（製造業）
現在は深刻な状態ではないが、やや不足(人材不足)。派遣社員の利用もある（製造業）
ハローワーク等への求人依頼（建設業）
求人窓口を広げる。採用者向けの社内制度を整備する（小売業）
従業員の高齢化で退職者の後継がない。新入社員が来ない。チラシ、職安と頼んでも見つからないのが現状だ（小売業）
随時募集をかけている（卸売業）
このままでは年末が怖いので、何らかの対策を（サービス業）
9月に新入社員入社（サービス業）
ハローワーク、求人雑誌に掲載や紹介制度を導入しているが、まだまだ不足（サービス業）
若年労働者は外注にて補う（サービス業）

北陸新幹線開業に伴う貴社への影響について

北陸新幹線開業に伴う、貴社への影響

	恩恵を受けている		恩恵は感じない		その他	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	7.7%		76.9%		15.4%	
繊維	0.0%		100.0%		0.0%	
その他製造	27.3%		72.7%		0.0%	
製造業	11.8%	23.0%	82.4%	70.4%	5.9%	6.6%
建設業	0.0%	5.6%	92.3%	87.9%	7.7%	6.5%
小売業	20.0%	15.4%	80.0%	82.7%	0.0%	1.9%
卸売業	20.0%	39.5%	80.0%	55.3%	0.0%	5.3%
サービス業(運輸含む)	12.5%	37.9%	87.5%	58.3%	0.0%	3.9%
全体	9.3%	22.8%	86.7%	71.9%	4.0%	5.3%



Q「北陸新幹線開業に伴う影響」の項目における具体的な意見

1. 開業効果の恩恵を受けている

観光客の増加により観光バス不足のため、新車の増産受注（製造業）
観光客増加に伴い顧客であるバス会社の業績上向きを機にバスの更新が活発化（製造業）
関東方面の出張が容易になった（お客様が当社に来所されることを含めて）（製造業）
間接的に金沢での需要増の恩恵が少しある（製造業）
関東からの注文が入るようになった（サービス業）
売上が増加した（サービス業）

2. 開業効果の恩恵は感じない

業種的に影響は考えられない（製造業）
取扱製品が一般住宅向けであるため（製造業）
関東地方のユーザーは少ないため（製造業）
地元に商圏が無い。無関係（製造業）
全国的な景気回復になっていないから（製造業）

住宅工事が主なので、余り感じ無い（建設業）
南加賀地区には今現在あまり関係ない（建設業）
ロードサービスには、ほとんど影響はみられない（小売業）
地元の方が100%お客様なので変わらない（小売業）
周囲をみても金沢に買物に行く人が増えている感じがする（小売業）
業種的に影響は考えられない（卸売業）
小松市内での営業を行っており、あまり変化を感じない（サービス業）
一度だけ団体客あり（サービス業）
建設関係は効果は先送り（サービス業）
加賀にもっとイベントを（サービス業）
航空旅客の減少に伴う売上の減少（サービス業）
小松空港利用者激変で、シャトルバスの乗客が減少、レンタカーも減少（サービス業）

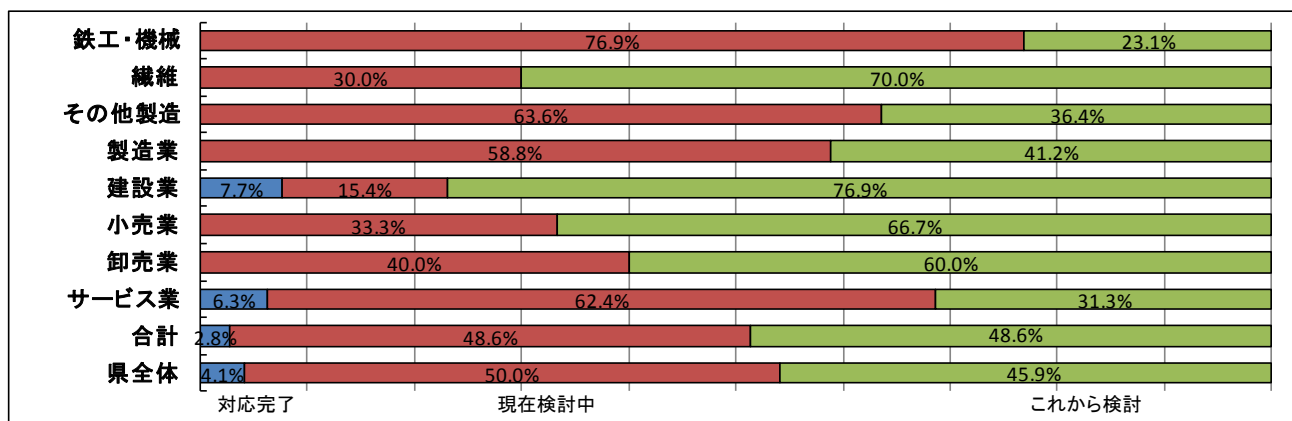
3. その他

営業活動の部分であるが、新幹線を活用し関東東北方面への出張がし易く便利になった
(製造業)

マイナンバー制度について(追跡調査)

貴社の状況について

	既に対応は完了済		現在、対応策を検討・実施中		これから対策を検討	
	小松	県内	小松	県内	小松	県内
鉄工・機械	0.0%		76.9%		23.1%	
繊維	0.0%		30.0%		70.0%	
その他製造	0.0%		63.6%		36.4%	
製造業	0.0%	5.1%	58.8%	53.8%	41.2%	41.0%
建設業	7.7%	4.5%	15.4%	43.6%	76.9%	51.8%
小売業	0.0%	0.0%	33.3%	26.9%	66.7%	73.1%
卸売業	0.0%	5.1%	40.0%	59.0%	60.0%	35.9%
サービス業(運輸含む)	6.3%	3.9%	62.4%	59.2%	31.3%	36.9%
全体	2.8%	4.1%	48.6%	50.0%	48.6%	45.9%



Q「マイナンバー制度」の項目における具体的意見

何をすべきか、周知不足(当局) (小売業)
景気改善は、現地点では、大企業中心であり、中小企業にはまだまだ浸透していない様に感じられる。特に繊維業はまだまだである (製造業)
企業への依存度や、セキュリティへの負担が一方的で、不満が多い。コスト UP 要因。 (製造業)
マイナンバーの取得後のセキュリティ対策 (製造業)
PC セキュリティ上の問題が心配です (建設業)
未だこれからだが、9 月以降具体化、首が締められるだけ (製造業)
税理士に相談している (製造業・サービス業)
特にないがシステムに関しては月末までに変更予定。株主のマイナンバーの入手をどうするか検討中 (サービス業)

■現在の景気全般に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

中国(世界)の景気動向により多大な影響を受ける、為替変動で国内景気が左右される (製造業)
中国経済の実態は、想像以上に悪く、日本に影響、今後の小手先政策ではなく、抜本的改革が期待される (製造業)
国内で食品業界で生き残ることは無理、今後は海外展開出来るかどうかで、分かれ道だ (製造業)
八方塞がりの感じが益々強い (製造業)
全体的に閉塞感におおわれている感じ (製造業)
このまま、ズルズルと悪化するように思われる (製造業)
アベノミクスも消費税 3%上げてから、景気は悪化、後退曲線に入る消費税を 2%上げるためにも景気拡大策は必要 (製造業)
今のところ忙しい状況です (製造業)
公共工事が大幅に減少しているので、小松市、石川県、国に対し、工事発注量を増加する様、要望してほしい (建設業)
景気はよくない (小売業)
小松市全体に元気がない (卸売業)
消費税 10%までの特需が期待できるが、その先は不透明 (サービス業)
景気はいいかもしれないが、それに対応する人が集まらない(飲食業) (サービス業)

■商工会議所へのご意見・ご要望などがございましたら、お聞かせ下さい。

① 小松市街の現状に対する会議所の能力が鮮明に反映されており、今の状況が続けば小松は水没してしまう。今の体制では無理、会員増強より先ず商工会議所の積極果敢な行動力が必要。(製造業)
② ムード的に好転するだけでも、何かヒントはないか。(製造業)
③ 元請は地元企業として守られているが、下請は全く無視されている。地元の希少企業の保護が必要である。(建設業)
④ 商工会議所会員企業への十分なサポート体制を整える。(建設業)
⑤ イオン出店状況を具体的に把握してほしい。(小売業)

会議所コメント：

①③④⑤

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、全ての中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施しつつ、時代を捉えて迅速、且つ積極的に情報提供に努めて参ります。

②年間を通し、各種講演会・勉強会等を開催しておりますのでご活用ください。